

咽頭結膜熱(プール熱)に注意しましょう!

咽頭結膜熱って、どんな病気?

4、5日続く高熱(38～39度)、のどの痛み、結膜炎(眼の充血・痛み)の三つの症状が特徴です。アデノウイルスという病原体が、口・鼻の中やのどの粘膜、眼の結膜などから体の中に入りこんで感染します。潜伏期間は5日間から10日間です。子どもに多い病気です。治った後もウイルスが排出されるので、注意が必要です。(発症後、のどからは7～14日間、便からは30日間くらい排出されます。)



予防方法は?

- ・他の人との、ハンカチ・タオルの貸し借りはやめましょう。
- ・トイレ後・外遊び後・食事の前は、せっけんでよく手を洗いましょう。
- ・手を介して病原体のアデノウイルスを運んでしまうことがあるので、手をよく洗う習慣をつけましょう。
- ・鼻をほじったり、目をこすったりしないようにしましょう。

今年の流行状況は?

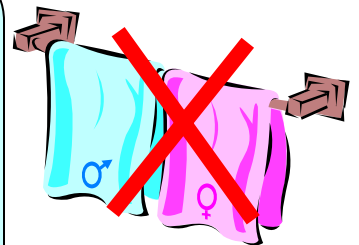
毎年夏に流行します。平成18年には、全国、横浜市とも大きな流行ありましたが、今年は、例年並みの患者数となっています。

- * 横浜市内の咽頭結膜熱の週別の流行状況を下記からグラフでご覧いただけます。
http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/infection_inf/grafu/Page2.htm

プールを介して流行することが多いので、プール熱とも呼ばれています

プールにあたっては、特に次のことに注意しましょう。

- ・タオルは、自分専用のものを使用し、タオルの貸し借りはやめましょう。
- ・プールの前後はシャワーをよく浴び、プール後は眼もよく洗いましょう。
- ・プール前には健康状態に充分注意し、体調が悪い時は無理をせず見学をしましょう。
- ・高熱・のどの痛み・眼の充血等の症状がある時は、必ず医療機関を受診しましょう。
- ・プール熱がなおって、登校が許可されてもプールはしばらく見合わせた方がよいでしょう。



咽頭結膜熱(プール熱)は、学校保健法上は、第二種の(学校)伝染病に分類され、「主要症状が消退した後2日を経過するまで出席停止とする。ただし、病状により伝染のおそれがないと認められたときはこの限りではない。」となっています。登園・登校については主治医にご相談ください。

最新の感染症情報は、横浜市衛生研究所ホームページ「感染症に気をつけよう」をご覧ください!
(http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/infection_inf/report.html)からご覧になれます。

各区福祉保健センターでも、病気や予防方法についての相談を受けています。

- * 福祉保健課健康づくり係
(病気や予防方法などに関すること)
- * 生活衛生課環境衛生係
(プールの管理に関すること)

